



明けましておめでとうございます。

2017年が始まりました。今年は酉年、新しい未来に向かって大きく羽ばたいていきたいですね。職員一同、気持ち新たに保育していきます。どうぞよろしく願いしたいいたします。

さて、年が明けて2月の成長発表会に向けて、それぞれの子どもたちの成長を確認することでうれしくなります。担任が月の様子でお知らせしていますが、4月から笑いあり、発見あり、葛藤あり・・・

とくに、めばえの子どもたちもお母さんから離れても毎日過ごす中で、1年をまたずにもう集団生活が身についてきています。おしゃべりをして意思を伝えるのではなく、アイコンタクトでお互いの気持ちを伝え合っている遊びですが思わず、吹き出して書いてあげたいほど、顔の表情で相手の気持ちを伝え合えるようになりました。ふたばも幼児がしている遊びを室内からガラス越しに見ていることで外遊びの時間にサッカー・1本下駄・ぽっくりに挑戦したり、電車ごっこもどきをしたりしています。模倣遊びの始まりですね。つぼみは友達の意識も深まり、会話を楽しみながら次の遊びの提案もしてどんどん幼児期に向かっていきます。いぶきはいま、自分が一番!!!の時期。この葛藤こそ友達を大切に思う一歩です。ひかりはだいちになるんだ。という気持ちが深まり場面場面で意識をしている言動が見られます。そしてだいちが友達同士で話し合い、解決したり、提案したり、もう大きないざこざで止まっていません。解決したり、思いを伝える力がしっかりと出てきました。あとの3か月でどのようにまとまるか楽しみです。

こうしてそれぞれのお子様がかえで保育園で過ごされて、確実に様々なことを考えたり、チャレンジしたり、毎日の経験が必ず力になっていることを確信しながら子どもたちの毎日を見守っています。

そのような様子を2月の成長発表会でご披露します。お楽しみに！

昨年時間超過の反省を活かして今年もプログラムの見直しをして取り組みます。

子どもたちとの合言葉『失敗は成功のもと!』で体制を整えて臨みます。楽しみにしてください。

1月13日の夕方コンサートは新たな取り組みで「琴とオカリナ」による新春コンサートです。春の海から子どもたちの好きな曲、懐かしい曲を奏でいただきます。

おじい様・おばあ様もお誘いいただきご参加ください。

園長 引地美津代

12月15・16日第三者評価を受審しました。

保育理念・方法・大切にしている保育内容・各マニュアルを書面で確認され、ついで現場確認・職員ヒヤリングを2日間に渡ってわたって丁寧に審査していただきました。

保護者の方々からのアンケート調査の報告も頂きました。

理念方針は周知できていましたが、諸費・行事・普段のお子様の様子（遊び・食事）個人情報取り扱いの説明などは十分でないことがわかりました。また、病気やけがの処置・職員のチームワーク・情報提供には不満があらわれることも出ていました。

このアンケートの結果を真摯に受け止め、改善していきます。

自由記述の欄には励まみや保育理解の声も多くうれしく思います。

ただ、写真に関して・保護者対応の曖昧さ・保育者の社会性の未熟さ・園長に対してカラーが強い等の厳しい内容もありました。

この件は園として変更できないこともありますが、その理由や対応など時間をかけて理解を頂けるよう取り組んでいきます。保育者の社会性の未熟さは保護者の方々にも育てていただきながら、日々研修や事例研修を多く持ち育てていきます。

一次審査から二次審査まで時間がありますので改善すべき点を明らかに子どもたちや保護者の方々にとって「よい園づくり」に努めます。

アンケートの結果は掲示させていただきますので閲覧ください。



にこにこメッセージ♪

主任保育士 藤森 寿美

12月16日、突然起こった出来事にびっくりしています。ご心配をおかけしてすみません。

先日退院して、今は自宅で療養しています。出産・虫垂炎以来初めての長期入院・療養生活をして、園に残した仕事の事を考えると「こんなことしてられない」と不安になっていました。でも、音楽を聴いたり、時間ごとに「あ～子どもたちおいしいおひるごはん食べているんだな～」「クリスマスのプレゼントよろこんでいるだろうな～」「だいちゃんのかぼちゃクッキングできたかな～」など子どもたちの過ごしている様子を思い浮かべながらなんとか過ごしていました。

病室のベットが居場所で、看護師さんが時間になると薬や食事を運んでくれる他は、退屈な毎日でしたが、看護師さんたちはそれぞれ声をかけてくれ、励ましてくれました。

毎日同じことの繰り返しでしたが、看護師さんのちょっとした気遣い、例えば目薬と洗浄綿をテーブルにおくときに取りやすいようにおいてくれる方もいればさっとおいていってしまう方もいました。食事も茶碗やお椀もバラバラではなく食べやすいようにきちっとおぼんに並べて直してくれたり、目の不自由な生活を強いられて初めてこのちょっとした気遣いに気持ち良く薬を飲めたり、うれしい気持ちになったりすることに気づきました。

保育の現場でも同じことで、挨拶から始まり、日々子どもたちへの関わりや保護者の方々への配慮もちょっとした気遣いで気持ちが通じ合うこと大切にしたいと改めて思いました。

痛くて不安な毎日の中に、また保育園生活での大切にしたいことにも気づいた時間でした。暫くは休みをいただきますが、治療に専念し、一日も早く復帰します。

*先日であって話した内容を代筆しました。 代筆引地

～乳児からのお知らせ・お願い～

- ・感染性の疾患の場合少し楽になった・・・で登園されると再発してしまう場合があります。十分に体力が戻ってから登園してください

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・自分のロッカーは各自で管理しています。調整のできる衣服・不要な物の有無を保護者の方が確認してください。
- ・登降園の際、荷物は自分で持たせてください

〔せんせいからのおはなしコーナー〕

寒さが厳しい季節となりました。今年も新年は実家のある香川県で家族とゆったり過ごすのが楽しみな今日この頃です。学生の時に神戸に出てきて以来、なかなかゆっくり帰省する機会が取れないため、毎年この時期の帰省が私にとってのちょっとした楽しみとなっています。幼い頃から両親のことが大好きだった私は、進学のためとは言えど一度は親元を離れて過ごしていることが、今でも自分自身不思議でなりません。寂しさはありますが、両親が遠くからそっと見守ってくれている安心感が、今の私の支えだと日々感じています。しかし、これだけ実家大好きアピールをしてきた私ですが、この時期の帰省でどうしても苦手なものがあります。それは郷土料理の「あんもち雑煮」です。あんもち雑煮とは、その名の通りあんこの入った餅が白みその味噌汁の中に入ったお雑煮です。食べていると次第に餅からあんこが溢れ出し、だんだん白みそ汁が濁っていくのが特徴です。味は悪くないと思うのですが、お餅もあんこもそれほど好きではない私にとって、その混ざった見た目がどうしても苦手でお味噌汁だけ食べることも少なくありませんでした。「1つ1つ素材そのものの味付けで食べればいいのに…」なんて思ってしまうのです。今年も出来る事ならみそ汁単品で・・・と思っているのですが、せっかくの郷土料理、好きになりたいという気持ちもあります。さあ、今年こそ苦手を克服出来るか…頑張りたいと思います。

猪塚明友美

ねらい：「体をたくさん動かしてあそぶ・好きな遊びを楽しむ」

う た：「まめまき・むすんでひらいて・とんとんひげじいさん・おてぶしてぶし」

新しい年になり、めばえぐみの生活もあと3ヶ月となりました。早かったような長かったようなあつという間の毎日でしたね。寒くなってきたので園庭に出る日もあれば、ランチルームやフリールームを使って室内で体を動かす日もありますが、体を動かすことが大好きなめばえさんが毎日元気いっぱい動けられるように過ごしていきます。



～つみき～

“作ること”を楽しむようになっためばえさん。積み木遊びでは倒れないように高く積み上げ1つ積み上げられるごとにパチパチと拍手をしています。そうっと置くこともあれば、「えいっ」と勢いよく置くこともあり、置き方ひとつとっても個性豊かです。大きさの異なる積み上げていくタワー積み木にも挑戦していて、大きいものから順に小さいものへと積んでいきます。大きさを見て積むことはまだ難しいですが、入らなかったら「これは違うから別の物」と大きさの違うものを積み考えながら積んでいっています。



中には乗り物のように形作り、「ぶーぶー」と言いながら走らせる子もいます。長いもの丸いものをよく見て組重ね、時には他のおもちゃも持ってきてその積み木に組み合わせることもあります。それを見て「楽しそう・・・」とお友達も隣で積み木を出して積み木遊びがどんどん広がっていきました。お互い積み木をしていることに気付くと顔を見



合わせて「ぶっぶー」と言いながら一緒にそれぞれの乗り物を作っていました。

～電車ごっこ～

平均台に並んで座り、電車ごっこも楽しむようになっためばえさん。中には「ゴーゴー！」と歌う子も。お部屋でやっている「でんしゃにのって」という大人の膝に座る遊びの中の「♪でんしゃにのって、ゴーゴー！」というフレーズを思い出しながら電車あそびを楽しんでいました。日々の遊びは他のところにも繋がっているのですね。

“担任の思い”

遊びが広がってきためばえさん。積み木もそうですが、「こうしてみたらどうだろう」「あれも使ってみたいな」と自分なりに考えを持って遊んでいる姿に日々驚かされます。型落とし用に置いていたチェーンをおままごとに持ってきて「ちゅるちゅる！」と言っておいしそうに麺に見立てて遊んでいたりと、築山からどんぐりを転がして落ちていくどんぐりを追いかけてはもう一度築山の上から転がそうとしたりしています。みんなの「やりたい」「おもしろい」が詰まった遊びを育者としてその遊びを守っていきたい、もっと広げていきたいと思っています。

原田千尋・谷角早紀・星加由美子

ねらい：「冬の自然を感じながら、外でたくさんあそぼう」

う た：「おもちゃのちゃちゃちゃ」わらべうた：「かんできわって」

12月に入ってから、暖かい日もありジャンパーなしで裸足であそぶ事が出来る時もありました。子どもたちはジャンパー等着ると動きにくく自由に体を動かすことが出来ず遊びも制限されてしまいます。出来る限り日差しがあり暖かく感じる時はジャンパーなしでかけっこ等体をたくさん動かしてあそぼうと思います。胃腸炎で体調を崩してしまうお子様保護者様もいらっしゃいましたが、今後も引き続き体調管理には気を付けて過ごしていきたいと思います。お家でも手洗いをしたりして予防して頂けたらと思います。

どんぐりマラカス



以前散歩で拾ってきたどんぐりを使ってマラカスを一人一つ作りました。どんぐり転がし絵に引き続き、どんぐりが大好きな子どもたちは一つずつ好きなどんぐりを指でつまんで小さなペットボトルへ入れていきました。「どんぐりころころ」を歌いながら入れたり、蓋を閉めて振ってみる時に「赤鼻のトナカイ」を歌いながら振ってみたりしながら思い思いにリズムを取りながら振っていました。どんぐりの数は子どもたちが入れたい気持ちによって様々ではあったこともあり、よくきいてみると音の大きさが違ったりして一人一つしかない

マラカスが出来ました。また色々な歌を子どもたちのリクエストも聞きながら、どんぐりマラカスをして楽しんでいこうと思います。

サンタさんからの送りもの

お部屋にサンタさんを飾ったり、にこにこ広場に大きなクリスマスツリーを見たりしながら毎日を楽しみに過ごしました。ツリーにはどんぐり転がし絵で作った作品をアレンジして、一人ひとりの写真も加えいつ



も自分がどこにいるかわかるようにしました。自分の飾りも自分でつけ、毎日保護者の方とも嬉しそうに見ているふたばぐみさんでした。かえで保育園でのお楽しみ会に理事長サンタさんが来て下さった時は、みんなとても喜び「サンタさーん」と言いながら握手もしてもらいずっと一緒にいたい気持ちが伝わってきました。部屋に帰るとびっくりプレゼントがあり、みんなの開きたい気持ちはありましたが、保育者がみんなの代表であけました。あけると大きな積み木で形や色もさまざまでみんな

で色を確認したり形も言ってみたりしながら「今までの積み木もあるから、色々な積み木を使いながらみんなで遊ぼうね」と話をして遊ぶ事にしました。その後は新しい積み木だけではなく色々な積み木を使いながら、子どもたちなりの創造で高く積んだり横に並べてみたり楽しそうに遊ぶ姿が見られます。

“担任の思い”

友達と遊びたいと思い同じ遊びをしてみても、ぶつかり合っけんかになりそうになる事が少ずつ増えてきました。言葉も出てきていますが、まだまだ自分の気持ちが抑える事が出来ず手が出てしまうこともある中、保育者が中に入ってお互いの気持ちを認め遊びが再開できるように心がけて保育しています。成長の過程でもあり集団生活をする中で一人あそびから友達との関係の意識が出てきていますので、見守る時、中に入って仲介する時と様子をみながら子どもたちの関係をつくっていかうと思っています。今年もよろしくお願ひします。

西口智子・日笠加菜・林千紗

ねらい：「集団であそぶこと（おにごっこ・かくれんぼなど）を楽しむ」

う た：「おしょうがつ・ゆき」

つぼみ組で過ごす時間も残すところ後3ヶ月となりました。一人で黙々とあそんでいた子どもたちが、先生とあそぶことを楽しみ、最近では、友だち同士であそぶことを楽しむようになっていきますね。つぼみ組で身体を動かし、心地よい関係になってほしいと願っています。寒さも冬本番となりますが、遊びに夢中になれば寒さもへっちゃらな子どもたち、元気いっぱい過ごしていきます。一つずつ登降園の準備で子どもたちができることは一緒にしてみてください。

“ランチルームの仲間入り”

12月からランチルームに下りて食事をするようになり、幼児クラスの仲間入り気分がとても楽しい毎日のようです。ペアのお兄ちゃんお姉ちゃんの休みの関係などもあり、午前中に子どもたちに伝えるとどこからともなく、聞きつけて「きょうは、だあれ」と確認している子どもたちです。友だちがランチルームに行くときは、みんなで応援するように「らんちむーる いってらっしゃい」と見送る子と何度もみんなのところに帰ってきて「いってくるね」と報告をする子ども。その様子を見てるとつぼみ組の子ども同士の関わりが温かさを感じました。



初回、ランチルームに下りたときには、お互いに緊張で静かななかで食事をしていましたが、回数を重ねる毎に会話が増え、ランチルームの食事のテーブルの上においている物を一つひとつペアの子に尋ねて、ランチルームの様子を見ながら楽しく食べています。4月から考えると担任から離れて自分で食事ができるようになった子どもたちの成長はすごいものですね。

“いいまちがい”

上記のように何でもしてもらっていた子どもたちが、自分でできることが増え幼児クラスへとむかっているなか、やっぱりまだ赤ちゃんらしい姿もありますね。それが、“いいまちがい”です。今だからこそその可愛さですよ、一日の様子でもお知らせした“中華どんぶり→中華どんぐり”から始まり、身近に毎日のように聞く“ランチルーム→らんちむーる”。子どもたちの会話を聞いているといい間違いながら一生懸命話している姿とても可愛らしいです。サンタさんにももらったプレゼントのおもちゃのルールを子どもたちに伝えているとどうしても“おひっこし”が“おちっこち”としか言えず、このおもちゃはどんなルール？と思うほどにサイコロを振るたびに“あかい かたつむり おちっこちー”と一生懸命話しながら遊んでいる子どもたちです。ぜひ、お迎えのときにそーっと覗いて見てくださいね。



“担任の思い”

今月の様子でお伝えさせていただいた通り、つぼみ組のこどもたちは今、赤ちゃんとお兄ちゃん、お姉ちゃんを行ったり来たりしている時期です。できることは増えてきていますが、一人で完璧にこなすことは難しかったり、甘えたかったり、葛藤している毎日です。お兄さんお姉さんと言われることは嬉しいけれど、お母さんお父さんにまだまだ抱っこしてほしいという心境なのかなと思います。幼児に上がる前にもう一度、ぎゅっと抱きしめて甘えられる時間をたくさんとってあげたいと思います。

須藤 聖美・三谷 梨緒・高田 奈沙

ねらい：「イメージしたものを自由に表現しよう」

う た：「コンコンクシャンのうた」

着替えの時には自分で服が汚れていないか確認したり、ファスナーやボタンを自分でやってみようとしたり様々なことに挑戦しています。できなくて困っている時には「やってあげようか」と優しく声をかけてくれるお友達もいます。何でも手助けしなくてもお友達同士で解決している姿をみると成長を感じ嬉しく思います。してあげたい、手伝ってあげたいとお友達のことをみてやってあげたい気持ちがたくさんできています。その気持ちが上手く伝わらないこともあります。その都度お互いの気持ちを伝えることで相手の気持ちに気づいています。

どんぐり転がし



水の道づくりからそうめん流しの遊びが始まり子どもたちは坂道を作ると流した水が勢いよく流れることを発見しました。冬になり気温が寒くなってくると水遊びからは離れてしまいましたがその次に見つけたのがどんぐりを転がす遊びでした。坂道を作れば勢いよく転がっていくことに面白さを感じ道づくりが始まりました。トイレットペーパーの芯を長くつなげたりトンネルをつくったりとハサミやテープなども

使いながら道づくりを楽しんでいました。初めは直線でしたが次には折り返し地点をつくり転がる向きをかえることを思いつきました。まだイメージした物を形にするのが難しいこともありますが少し手助けすると「できた」と喜び何度も遊んでいます。小さいお友達が来ると「どうぞ」とどんぐりを渡してあげて一緒に遊ぶ姿も見られます。

水の鏡



あるお天気の良い日、ピオトープを覗くと柵が鏡のように水に映っていました。きれいに映っていることに感動し「先生きてきて」と教えてくれました。息を吹きかけてみたり、手であおいでみたり水面を動かして遊んでいました。触れそうで思わず手を伸ばした時には水の中に手を入れてしまい驚いている姿もみられました。不思議な世界にみんなで肩を並べてみている姿がかわいらしくゆったりとした時間が流れていました。毎日あるものですが気づいた時には様々な発見があり面白いです。

“担任の思い”

イメージした物を作る楽しさに気づき、画用紙や折り紙、のりやはさみなど様々な素材に触れながら作ることを楽しんでいる姿がよく見られるようになってきました。絵本を読んでいてもお話の世界にはいりこみお友達とお話ししていることもあります。ピアノの音に合わせながら動物や消防士などになりたいものになりきって遊ぶこともあり、なりきるものによって動きも表情もかわり楽しそうです。お友達と同じイメージをもって遊ぶ姿も見られるのでお友達と一緒に表現することを楽しみながら過ごしたいと思います。

足立 真裕子

ねらい：「友達と思いを伝えあうことを楽しむ」

う た：「ゆきのペンキ屋さん」

新しい年になり、ひかり組として過ごすこともあと3ヶ月となりました。4月を思い返すと本当にあっという間で、トマトを育てたこと、色水屋さんを楽しんだこと、運動発表会のこと、電車に乗ったこと、など少し思い返すだけで楽しかったことがどんどん浮かびます。ひかり組として過ごす時間はもうあと少しですが、「ひかり組、楽しかったな。」「これからだいち組、がんばるぞ。」と思えるように、子どもたちと一緒に楽しんで過ごしたいと思います。

“そらまめくんのベット”



11月にお部屋の環境を少し変えて、積み木コーナーがひかり組、だいち組から大人気の間所となりました。お友達と一緒に積んだり、高く大きなものを作ったりして楽しんでいたのですが、そのコーナーにだいち組が作った大きなかぼちゃが引っ越してきたことで、かぼちゃの隣に何を置くか悩み、だいち組とひかり組で作戦会議が開かれました。

始めは「船とかいいんじゃないかな。」「海賊船とか作りたい!」と積み木で作ったものを置く話が出ていたのですが、「でも…かぼちゃは畑なのに、隣が海ってなんだか変だね。」という意見もあり、話は振り出しに。すると、そらまめの栽培を始めたたり、そらまめ君になりきって表現遊びを楽しんでいた事もあってか、ひかり組のお友達から「そらまめくんのベットが作りたい。」という声があがりました。だいち組のお友達も賛成してくれたので、ひかり組のそらまめくんのベット作りが始まりました。図鑑や絵本で改めてそらまめについて調べることで、内側が白いということを知ることができたりなど、新しい発見もあり、「ふわふわのところどうする?」「おへその所は茶色にしようよ。」など楽しそうにみんなで相談しながらベット作りが進んでいます。今後どのようなそらまめくんのベットができあがるのか、楽しみです。



“担任の思い”

子どもたちの「やってみたい!」「知りたい!」の気持ちがどんどん出てくることで、遊びも広がり、私自身も子どもたちと一緒に考えたり、挑戦することがとても楽しく、ワクワクする毎日です。4月から子どもたちの興味・関心のあることに寄り添って遊びを展開してきましたが、何度も経験する中で、体験したことから考え、提案があったり、友達と一緒に楽しむ機会も増えてきたように感じます。電車やそらまめなど一人ひとり興味のあるものは様々ですが、一人ひとりが納得のいくまで考えたり挑戦することを目標に残り3カ月過ごしていきます。

林 奈津美

ねらい：『身の回りの整理整頓をする』『友だちとイメージを共有してあそびを広げていく』

うた：『上を向いて歩こう』『おしょうがつ』

12月に入り体調を崩す子も多く、全員が揃う日は少なかったように感じます。その中でも健康に過ごせるよう自分たちで出来ることを考え、手洗いうがいや早寝早起きを意識しながら過ごしてきました。体の調子が優れない時には自身で横になって体を休めたり、気温に合わせて衣服での調節も自ら出来るようになってきただいちさんです。園庭に出る前には「〇の針でお部屋に入ろう。〇分だね。」と伝えると、時計を見て気付いた子が周りの友だちにも声をかけ片付けを始めたりと、大人の言葉がなくても行動できるような環境を意識的につくり、過ごしているところです。

“ええところ”

2016年ももう終わりに近づいた頃、4月にだいち組でよくしていた“友だちのいいところ探し”を試みることにしました。「う～ん…何にしよう」と少し照れながらも、「〇〇ちゃんの笑ってるところがいいなと思う」など発表してくれました。

そして後日、だいちさんと一緒に『ええところ』という絵本を読みました。偶然にもだいち組のお友だちと同じ名前の女の子が二人出てくるお話です。“自分に良いところなんてないんじゃないか…”そう思い落ち込んでいるAちゃんに対して、Bちゃんは「Aちゃんのいいところは、手があったかいところ。みんなの手を温めてくれるのは、とっても良いところだよ」と教えてくれます。だいち組のAちゃんとBちゃんは少し恥ずかしそうにしていますが、聞き馴染みのある名前にみんな反応し大喜びで絵本を見ていました。しかし物語が進んでいくにつれ、笑っていただいちさんの目もだんだんと真剣な眼差しに変わり、「ねえ、Aちゃんの手があったかいのも良いところだけど、Bちゃんも教えてくれて優しいよね」「優しいところがだいち組のAちゃんとBちゃんにも似てるね」とほっこりとした空気が流れました。

友だちとぶつかることも言い過ぎてしまうこともあります。だいちさんを見ていると“人を信じる心”がしっかりと育まれているように感じます。友だちと過ごすことに安心感を持って、自然体で居られること。それが友だちとの関わりの中にもよく見られるようになりました。小さなことですが、クッキングをしている時に集中するあまり隣の子の肩にぶつかると、自然と出てくる「ごめんね」の一言や、朝登園すると当たり前のように交わっている「おはよう」の挨拶、友だちが泣いていると、お昼ごはんを食べたかった気持ちも忘れて「どうしたん？」と駆け寄り心配そうに覗き込む姿、自分の大切に感じているあそびからも安心して離れてトイレへ行けること…等々。「ぼくが！」

「わたしが！」と自らの意思のぶつけあいできんかになったことも多々ありましたが、そんな日々を通してきたからこそ今の姿があるのだとしみじみと感じています。友だちの良いところに気付き素直に伝えられるだいちさんも、“ええところ”を持った素敵な仲間ですね。



“担任の思い”

だいちさんの間に流れる言葉では言い表せない温かい空気は、担任の私もとても心地よく感じます。朝、顔をあわせるだけでほっとするような、そんな安心感があります。だいちさんの好きなうた『ともだちっていいな』の歌詞の中に、「目と目が合うだけで何でも分かるのさ」という言葉が出てきますが、本当に言葉を交わさなくても何となく感じるものがあるのは、相手を信頼し信頼してもらっているからこそ生まれるものなのですね。決してだいち組だけでなく、毎日一緒に過ごしてきたいぶきさんひかりさんとの間にも、それは感じます。お昼寝から起きてきたいぶきさんが「お姉ちゃん、髪くくって」とお願いし快く受け入れてくれるだいちさんとのやり取りなど、人を信じる心は日々色々な姿に通じているのだと気付かされました。“いいところ探し”おうちでもぜひ、お子さんとしてみてください♪言葉にして伝えてもらうことで自分の良いところに気付き、自分自身を認めることにも繋がっていくのではと思います。

保護者の方からのおはなしコーナー

つぼみ組から入園し、いつも泣いていた息子も、もうすぐ卒園。

家では「何かお手伝いする事ない？」と聞いてくれて、お米を研いであげたり、ご飯を食べる準備をしてあげたり、6月に産まれた弟の面倒を見てあげたりと、頼りになるお兄ちゃんになってくれました。

だいち組 まさこさん

保育参加で発見した我が子の成長。

給食の準備係を一人でテキパキとこなし、私にもやり方を教えてくれました。

お茶を入れて、おしぼりを作り、テーブルを拭いて…そんな沢山のお仕事を短時間でこなせるの!? まだまだ小さな我が子とと思っていましたが、その日見た我が子の姿はとてたくましい頼れるお姉さんでした。

ひかり組 あきこさん

先日は南海トラフ地震を想定した市の訓練や、東北で地震があったりして、家でも色々な話を子どもたちとしました。

娘は保育園で習った“お・は・し・も・ち”について教えてくれました。お=おさない、は=はしらない、し=ちゃべらない、も=もどらない、ち=ちばらない。サ行が上手く言えず、ちばらないが、ちばらないなってしまいますが、それがほほえましく又、しっかり習ったことが身につけていて頼もしいと思える出来事でした。

いぶき組 りかさん

かえで保育園に入園したのは娘がまだ7ヶ月の時でした。まだ赤ちゃんだった娘と離れるのがとてもさみしく感じました。早いものであれから6年が経とうとしています。だいぶお姉さんになった娘。家ではまだまだ甘えんぼうですが保育園では頑張って、でも楽しんで過ごしています。そんな娘の将来の夢は保育園の先生。かえで保育園で素敵なお先生方と出会えたからか、母の背中を見てなのか・・・なんだかうれしい気持ちでした。これから大きくなって夢は変わるかもしれませんが、自分の好きな道にすすんでほしいなと思います。

だいち組 けいこさん

入園したころは、毎日のように泣いて嫌がっていた娘ですが、今では保育園から帰るのが嫌だと言うようになりました。

毎回連れて帰るのが大変ですが、保育園で楽しく過ごしているのだなと嬉しい気持ちです。家でも今日は〇〇ちゃんとあそんだよ。とお友達の名前も言えるようになり、嬉しそうに教えてくれます。

ふたば組 ちかさん

先日、私の指のあかぎれを見つけると、息子は絆創膏を取りに行き、「ママ大丈夫だよ、貼ってあげるからね!」とぎこちない手つきで貼ってくれました。絆創膏を貼る場所は全然違いましたが、気遣ってくれる息子のやさしさに成長を感じ、嬉しく思いました。

つぼみ組 さなえさん

～お台所から～

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。まだまだ寒い日が続きますが、1月も体を温める献立と旬の食材を多く取り入れていきたいと考えています。

12月の食育活動の様子

- ・お餅つきでは、きな粉・あんこ・砂糖醤油・甘だれ味噌・大根おろしを用意し、子どもたちが好きな味を選んで食べました。「きな粉が大好き！！」「全部食べてみた！！」など、楽しそうに話していました。又、後日突いたお餅を使って、安倍川もちと、ぜんざいを作りました。
- ・お楽しみ会のケーキはクリスマスも兼ねて、ブッシュドノエル風にロールケーキにしました。初メニューでしたが、「すごい！！」「イチゴのサンタかわいい！！」など嬉しそうに話していました。
- ・五目ラーメンのスープを市販のものを使わず、鶏ガラを煮込んで作りました。子どもたちにも好評で、「美味しい！！」とおかわりしてくれる子が多かったです。作り甲斐がありました。だいち組では、みんなで育てた「かぼちゃ」を素揚げにして頂きました。松秀幼稚園で頂いた渋柿もおいしい干し柿に仕上がりましたので、少しだけ、熱湯のお風呂に入っていたいただきみんなで食べました。大きな種が入っていてまた種の話で盛り上がりました。

1月に使う食材

ブロッコリー	カリフラワー	しゅんぎく	れんこん
はくさい	かぶ	こまつな	ほうれんそう
だいこん	にんじん	りんご	みかん

予定している食育活動

- ・6日のおやつに七草粥を食べてもらい、春の七草を伝えたいと考えています。(せり・なずな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろ)が入ります。
- ・だいち組は外の花壇でできたレモンでジャムを作ります。
- ・子どもたちの目の前で、野菜炒め・和え物・ホットケーキ・ぜんざいなどを作り、見て楽しむ活動にしたいと考えています。
- ・これから、雑穀米を多く取り入れ、しっかり噛む事と様々な穀類があることを知ってもらえるように考えています。
- ・1月からは次の学年に上がる準備として食事の様子チェックを行います。おはしやスプーンの持ち方、噛み方、姿勢等を各々の調査し、関わっていきます。
- ・延長保育の軽食を見直していきます。

【12月のおいしかったご飯】



お餅つき



12月のお誕生日ケーキです



ぜんざいを作りました



★お願い★

- 新年の保育は1月4日(水)からです。
お弁当日となりますのでご用意ください
- 1月13日(金)に夕方コンサートをします。
琴とオカリナの演奏者をお招きして日本のお正月を感じたいと計画しました。詳しくはポップにてお知らせしています。是非ご参加ください
- 1月17日(火)は浜脇地区合同震災訓練です。
浜脇小学校に4・5歳のみ避難訓練に参加します。
- 1月18日(水)は移動動物園に来ていただきます。
当日の朝にご家庭である野菜を少し動物にプレゼントしてください

こんなことしたよ♪

12月2日(金)にお餅つき大会がありました。天候にも恵まれ、暖かい青空の下、子どもたちの元気な掛け声が響きました。目の前でつかれていくお餅を、子どもたちは夢中になって見つめており、ただいちさんは実際にお餅をついて楽しみました。つくたてのお餅はやはり格別だったようで、みんな「おいしい!」とたくさん食べていました。お手伝いしてくださった保護者の皆様ありがとうございました。



21日(水)にはおたのしみ会がありました。だいちさんのきれいなキャンドルサービスを見た後、鈴の音と共に理事長先生サンタが登場すると子どもたちは大興奮でした。みんなプレゼントをとっても楽しみにしている様子で、中身は何だろうと興味津々でした。クラスに戻り、さっそくプレゼントを開いた子どもたちはとってもきらきらした笑顔でしたよ。これからお友達と楽しく遊んでいきます。理事長先生、園長先生ありがとうございました!



- 1月21日(土)西宮市保育協議会主催の職員新年の集いのためご協力をお願いしています。保育は13時までとなりますのでご了承ください。
- 1月中旬より成長発表会に向けて話をしたり、子どもたちでストーリーを進めていきます。9時30分までの登園をしてください。
- 毎月、保育の振り返りや計画のために職員全体会議・乳児会議・幼児会議・リーダー会議・食育会議等を行っています。特に職員全体会議は18時から行ないます。会議の日をお知らせしますので迎えに来られた際は速やかに降園をお願いします。



1月の予定

- 1月 4日(水) 保育開始
- 1月12日(木) 支援(親子ストレッチ)
- 1月13日(金) かえでカフェ(16:00)
琴とオカリナの音楽コンサート
- 1月17日(火) 浜脇地区合同震災訓練
- 1月18日(水) 移動動物園
- 1月21日(土) 西宮民間保育園新年の集い
保育は13時までとなります。
- 1月24日(火) 誕生会

2月の予定

- 2月 3日(金) 節分・豆まきの集い
- 2月 4日(土) せいちょう発表会
- 2月 9日(木) 雪あそび(ひかり・だいち)
- 2月25日(土) 29年度新入説明会